

令和6年度 栗東市公共下水道事業 決算概要及び業務状況

1 令和6年度 公共下水道事業会計の決算概要

① 収益的収支(営業活動等に伴う収支)

家庭や企業から出る汚水や雨水を適切に処理するための経費とその財源

当年度純利益 207, 002, 762円【前年度比 +5, 667万円】

(前年度との増減理由)

事業所等からの特定排水量が増加したことにより下水道使用料が前年度を上回ったこと、及び一般会計からの繰入金が増加したことにより、純利益が増となりました。

② 資本的収支(設備投資等に伴う収支)

污水管や雨水管渠等の下水道施設を整備・更新するための経費とその財源

収支不足額 ▲783, 859, 239円【前年度比 ▲1, 936万円】

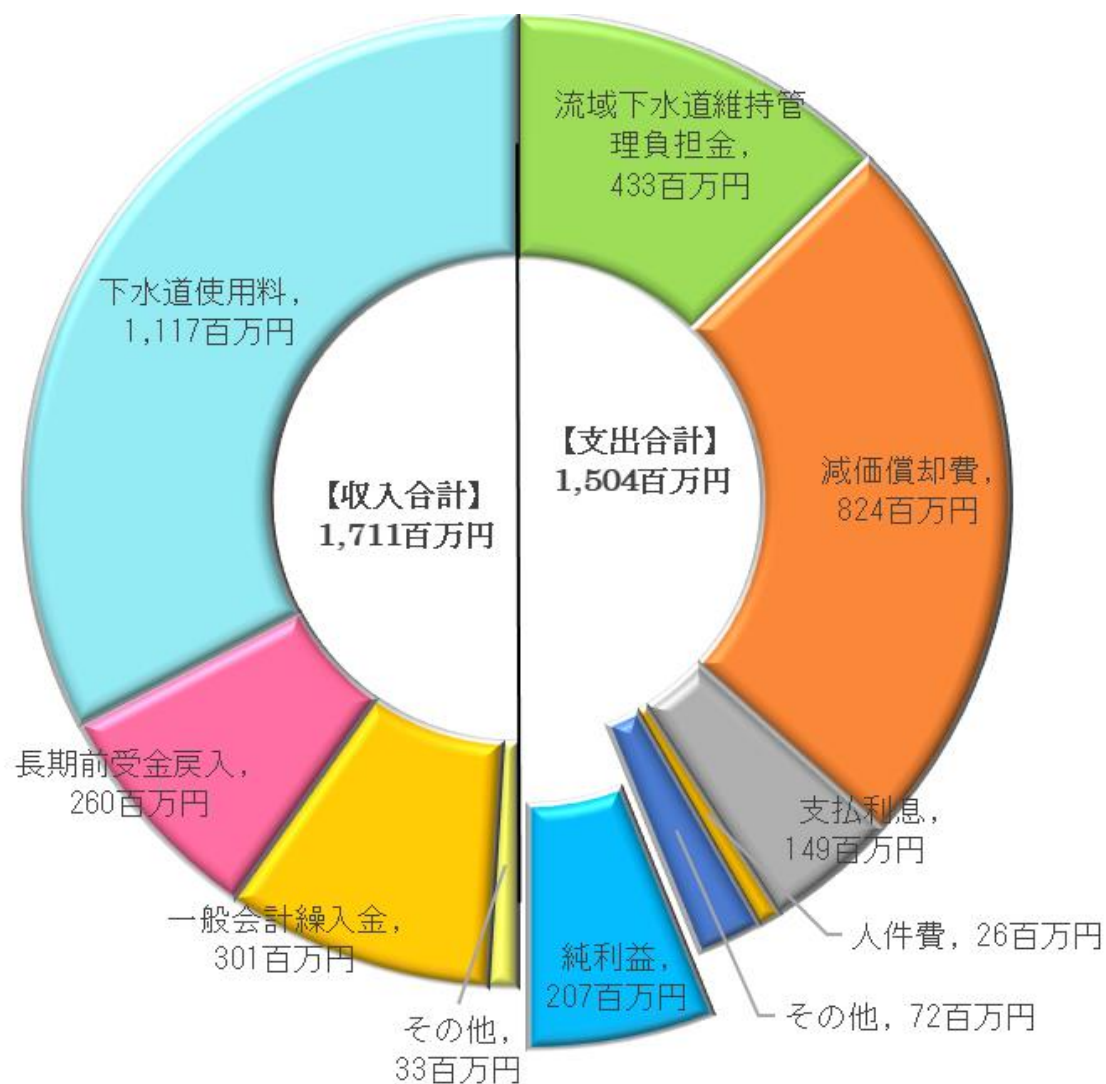
(前年度との増減理由)

企業債借入の減等により不足額が増となりました。

令和6年度決算では、**年間有収水量は前年度を下回りましたが、下水道使用料は事業所等からの特定排水が増加したことにより、前年度を上回りました。**

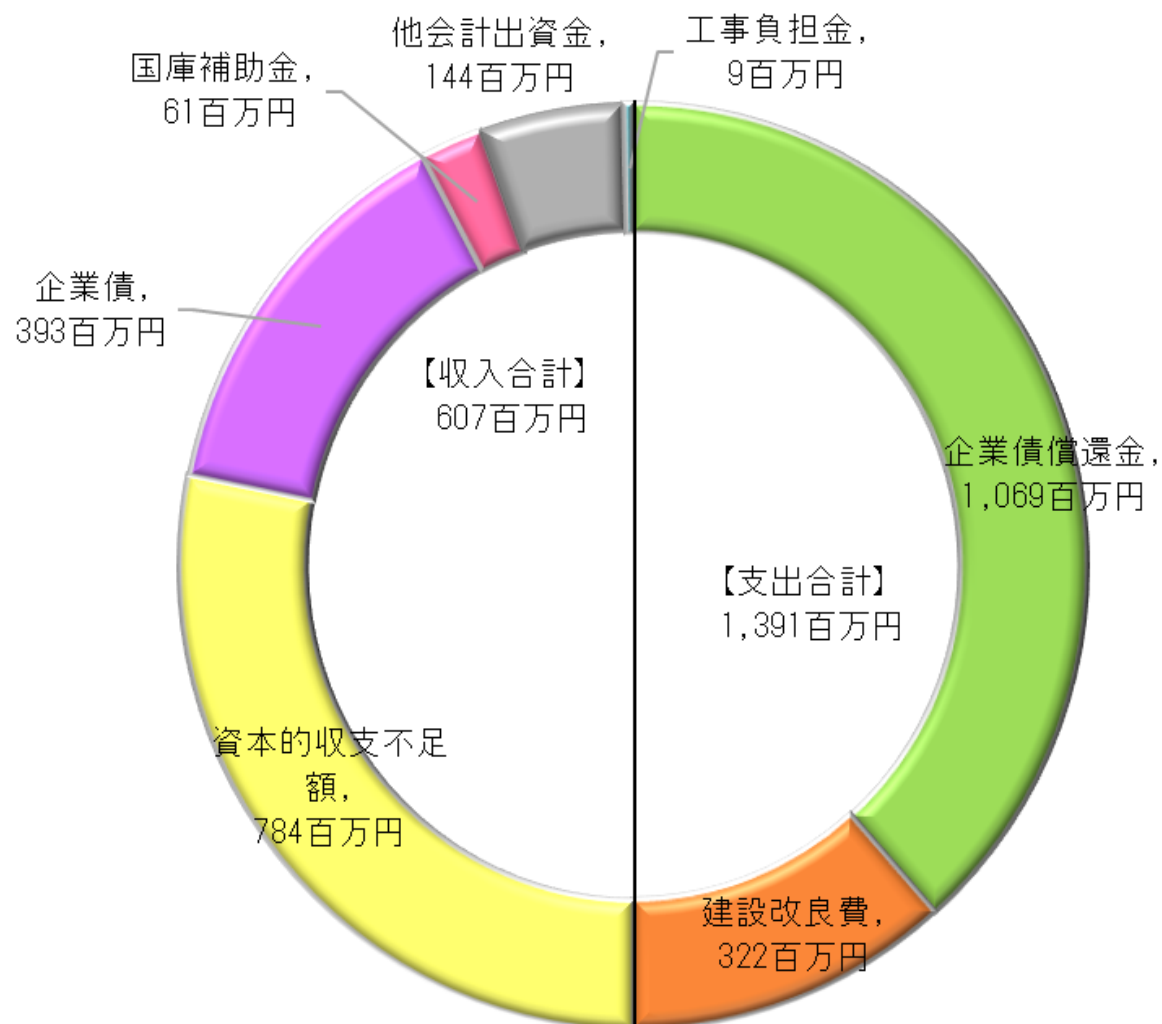
今後、多くの改築更新費用が必要となり、厳しい経営状況が続くことから、健全経営に向けた取組みを計画的に実施します。

① 収益的収支の内訳



純利益2億700万2,762円

② 資本的収支の内訳



※積立金や留保資金等により補填

【内訳】積立金 1億4,000万円

損益勘定留保資金 6億2,200万円

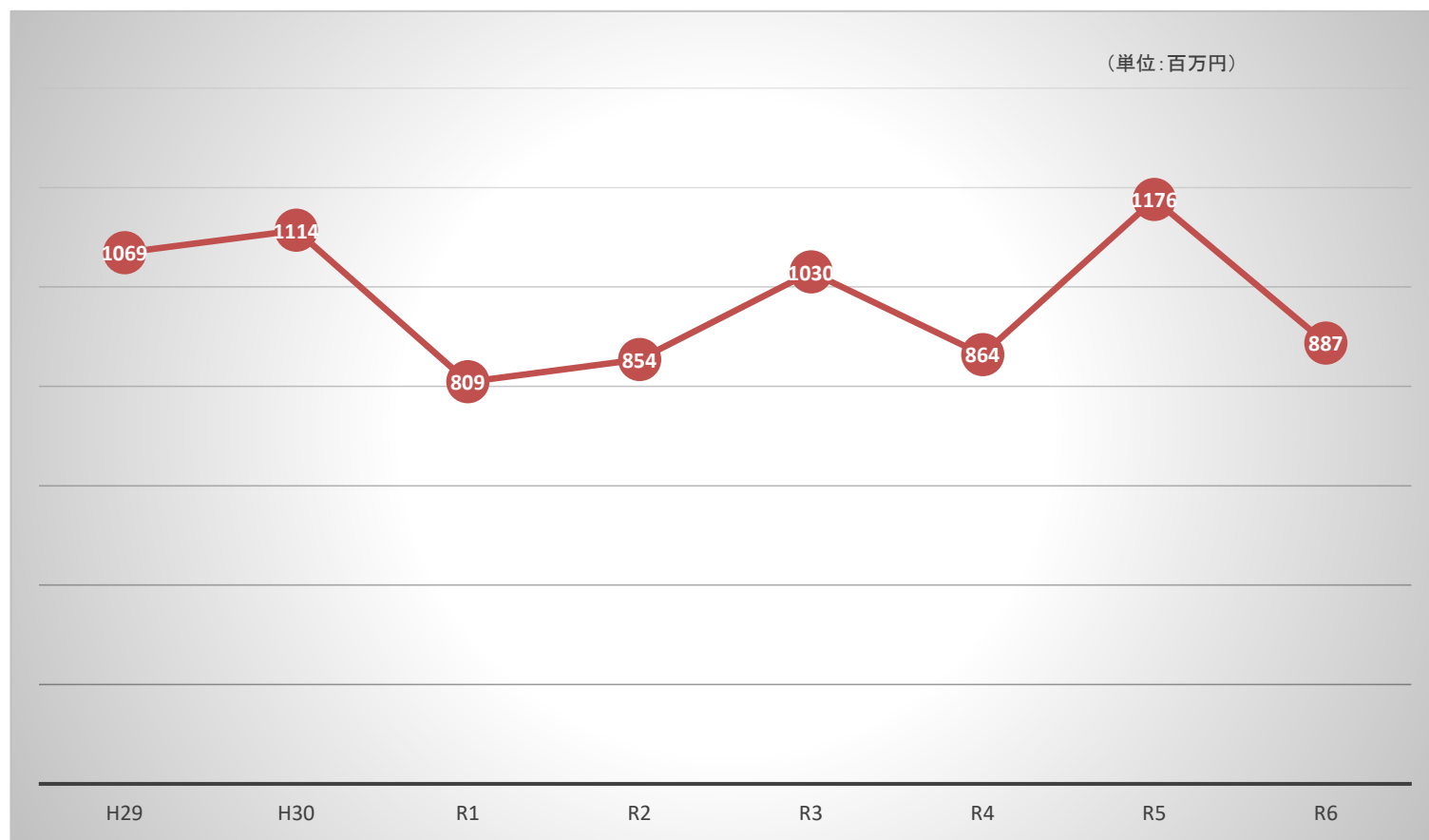
消費税資本的収支調整額 2,200万円

③ 貸借対照表(令和6年度末)

資本の部 247億500万円	有形固定資産 199億2100万円	固定負債 117億2500万円	負債の部 207億700万円
		流動負債13億4600万円	
		繰延収益 76億3600万円	
		資本金 30億9500万円	
	無形固定資産 36億2600万円	資本剰余金 1900万円	資本の部 39億9800万円
流動資産11億5800万円	利益剰余金 8億8400万円		

④ 資金期末残高

前年度より2億8,900万円の資金減となりましたが、事業運営に必要な資金目標の8億円は確保しております。



2 令和6年度 下水道事業報告

① 主な経営指標の状況

指標	内容	単位	実績値		
			R4	R5	R6
使用料単価	有収水量1 m ³ あたりの 使用料収入	円／m ³	123.37	122.65	125.51
		有収水量1 m ³ あたりの下水道使用料の単価			
汚水処理原価	有収水量1 m ³ あたりの 汚水処理費用	円／m ³	126.23	125.74	126.64
		有収水量汚水1 m ³ を処理するために要した費用			
料金回収率	使用料単価／汚水処理原価	%	97.74	97.54	99.10
		料金水準の妥当性を示す指標。100%以上で、汚水処理費用を使用料収入で賄えている。			
経常収支比率	総収益／総費用	%	109.21	110.06	113.76
		経営の健全性を示す指標。100%以上で健全経営とされる。			

② 業務量

○事業用大口使用者による特定排水量が増加しましたが、全体としては節水機器の普及等により、年間有収水量は前年度を下回りました。

○有収率は0.7ポイント減少しました。有収率の回復に向けて、雨水幹線の整備、下水道接続指導による誤接続の解消等の対策を継続的に取り組んでまいります。

項 目	令和6年度	令和5年度	増 減
行政区域内人口(人)	70, 266	70, 290	△24
処理区域内人口(人)	70, 174	70, 088	86
処理区域内水洗化人口(人)	69, 469	69, 366	103
整備済管渠延長(km)	342. 2	338. 4	3. 8
普及率(%)	99. 9	99. 7	0. 2
水洗化率(%)	99. 0	99. 0	0. 0
有収水量(m3)	8, 899, 574	8, 954, 593	△55, 019
有収率(%) (年間有収水量÷年間総処理水量)	89. 3	90. 0	△0. 7

③ 企業債

○過年度に発行した企業債償還金が毎年10億円を超え、重い負担となっていますが、年々企業債残高は減少しております。今後、法定耐用年数を超えた管渠が発生することから、計画的に管渠等設備の更新を実施し費用の平準化を図ります。

